



明照保育園
 連絡はこちらへ
 TEL...0182-32-7388
 HP・FB随時更新中
 2022年10月1日発行

「気分を変える大切さと、見守る保育を考える」

秋の清々しい空気が感じられるようになりました。今日が雨であっても、とても良い秋晴れであっても、深呼吸してみましょう。朝、ちょっと山の方を見てみてください。霧がかかっている、ただただ綺麗だなと。見渡すだけでも気持ちリフレッシュできました。

こんなリフレッシュを9月に県外で感じてきました。昨年12月ぶりでしたが、急遽決めた1泊2日の家族旅行。山形のリナワールド、仙台と松島を巡った際に宿泊した古民家1棟貸し。長女は中学生でもう大人料金だし、6人で泊まれる場所探しで一苦労。宿とか決めることは一切任せたい妻と、提案しても「高いから別の。自分で決めて」と言われ、なんで一人で悩んで探して、提案して却下されて、決められなくて直前になって宿なくなっていくって、高くなって、また一人で決めなきゃいけないの。それで反発すると、「じゃあ旅行やめよう」という一言。それなんなん？という、いつもの決まるまでの大喧嘩はありましたが、無事にやってまいりました。

本題に戻れば、宿泊はビジネスホテル2部屋とかもありましたが、それよりも安くて思い出深いと思った古民家。里のような場所にたたずむ場所で、子どもがいくら騒いでも気にならない。朝から縁側に座り下着姿で髭をそる贅沢。そんな数々の思い出を夕々に作ることができ幸せでした。

皆さんにもお気を付けてと感染対策を伝えているように、帰ってきてから妻と一緒にPCR、加えて子どもたち全員の抗原検査（今回は大崎市で）を行っております。こんなことを皆さんに説明するのは、職員に対しての私の思いが含まれます。衛生対策は各園によって様々です。衛生対策を徹底し、園長自ら県外への自粛を今もしている施設もありますが、私はそうじゃない方です。仕事柄、役目もあり、県外出張はかなりありますし、保護者の皆さんもそのようなお仕事の方がいるでしょう。現在、行動制限はなく、保護者の皆様も衛生対策や検査を推奨している状況において、職員は絶対ダメって私は言いたくないんです。病院などの命の現場であれば、そのようなことは必要だと思いますが、私はしっかり検査もして楽しむ分には、「行ってらっしゃい、気分転換も大事よ」という方針です。保護者はどうぞ、職員には私(園長)は行かないこと徹底するからね、だと言ったときは隠さないって意識につながってしまうと心配になります。

保育の仕事は悩ましいことが多くあります。だからこそ、ちょっと気分を変えたり、外の方と話をしたり、いろんな視点をもつことが大切だと私は思います。

最近、全国で父親の子育て推進に取り組む団体役員の方と飲みながら、保育の現場のこと、課題について熱く話し合

ました。ほぼ記憶も消し飛んだんですが、胸に残っていることがあります。「保育士が見守れているか？」という質問でしたが、子ども同士がトラブルとなったとき、すぐに止めてしまう保育士と、ある程度子ども同士でどう解決していくか見守る保育士、どちらが求められるかということです。福祉先進国である北欧の保育や、新宿せいが保育園という保育園で行っている必要な援助はするが、子どもの自主性・選択制を重んじる「見守り保育」などが有名であることは知っていました。

その方と話し合った中で、子どものトラブルの解決をし過ぎてしまうことで、小学校に進んだ後、カッとなって暴力を振るう事案を生み出している実情がある、そのようなことを教えていただき、うちの園はどうだろうかと思いついていないか、遊びは一択になっていないか、トップダウンでないか、けがをしたとき・する前に記録する「ヒヤリハット報告書」ばかり気にしすぎていないか、ということです。もちろん、保護者の皆さんにとっては、けがをしないで帰ってきたということは評価点であると思えますが、ただ、そこをよくよく見つめたとき、未然に防ぎ過ぎていることがないようにしないといけないということも、同時に大切にしていかなければ、自分で解決できない大人に育ってしまいます。

「見守る」とは、放任している、楽をしているということでは決してありません。その子の特性や今日の調子、発達状況を見ながら、どの程度の援助、どこまでの見守りをしようかと見極める高等技術です。そのようなことを議論して、そしてこのお便りで振り返りながら、自分の中で事故だけに注目が置かれがちな「ヒヤリハット」だけじゃなく、例えば「見守ってよかった記録」なんてのもいいんじゃないかという新たなアイデアも浮かんでいきます。うちの保育園でもすべてができていないということでは決してなくて、それぞれが日々学びながら頑張っています。でも、いろんな方法を知ること、まだまだ、子どもたちのためにできること、環境を変えてみることはたくさんあるなと感じます。

「見守る保育」。実は私も恩恵を受けているんです…。保育園から家に帰ってきて、気づくことがあります。〇〇の窓が開いていました。自分の不注意ですが、頻発することがあります。いつから開いてたんだろと振り返りながら、きっと私の発達状況から自分で気づいた方が良いとの判断か。誰か気づいていたら言ってくれという思いと、これは「見守る保育」なのかとも思う…。

そんな悩ましいときは秋の景色でも眺めてみます。(園長 津村 侑弥)



今月の行事

1日(土) 衣替え 年長児合同発表会 9:30~12:30 (さくら組) (明照保育園×金沢保育園×横手マリア園) 市民会館	17日(月) 要請訪問 (市教育委員会) 10:00~11:30 保育参観 13:30~15:00 協議・研修 19日(水) 誕生会 10:00~10:40 職員ミーティング 13:00~14:00
6日(木) 詩吟勉強会 (さくら組) 11:00~11:30	24日(月) 身体測定
11日(火) 避難訓練 消防署立ち合い総合訓練 10:00~10:30	25日(火) 教育相談 (横手支援学校) 9:00~11:00 保育参観 13:30~15:00 指導・助言
13日(木) 性教育講座⑤「生まれた！体験赤ちゃんを抱っこ」	27日(木) 昔語り (3歳以上児組) 11:00~11:30
14日(金) 交通安全指導「飛び出しの危険について知る」	内科健診 (市立横手病院 小松医師) 14:00~

※ 個人面談(2回目)の日程などについては、後日お知らせします。
 ※ 要請訪問について…市教育委員会 指導課の先生方に、午前は保育参観をしていただきます。午後はその保育についての協議をします。保育士の学びの機会になっています。

職員の研修その他 10/18(火) 市保育協議会研修会 10/20(木) 保育研究委員会 10/25(火) すくすくネットワーク研修会 10/26(水) 県保育士会食育研修会 10/27(木) 県社会福祉大会	職場体験・保育実習 10/3日(月)~15日(土) 仙台青葉学院短期大学 (2年生) 1名 10/17日(月)~19日(水) 県立衛生看護学院 (3年生) 3名
---	--

げんきのもと
 はやね はやおき あさごはん

横手市子育て支援課からのお知らせ
 令和5年4月中に保育園の利用を希望する方の受付がはじまります。(市報10月号・HPにて詳細をご確認ください)
 *受付期間 令和4年10月3日(月)~11月30日(水)
 *申込先 横手市子育て支援課 か 各市民サービス課

令和5年度 入学予定者 就学時健診

学校名	人数	実施日	受付開始時間
旭小学校	1	10月14日(金)	13:00
吉田小学校	1		
横手南小学校	16	10月18日(火)	12:50
大曲小学校	1	10月19日(水)	13:00
横手北小学校	4	10月26日(水)	12:25
朝倉小学校	1	10月28日(金)	12:30

27日(木) 午後2時 内科健診です！
 嘱託医の横手病院 小児科 小松先生に聞いてほしいことがある方は、担任にお知らせください。(健診時に担任より聞きます) 体調不良での欠席はやむを得ないですが、当日は、欠席のないようご協力ください。

10月うまれのともだち
 りす組(1歳児) 2歳になります！
 さくら組(5歳児) 6歳になります！
 おたんじょうび おめでとう

ひよこ組
 一人一人に合わせたリズムで、秋の自然に触れながら、散歩や探索活動を楽しむ

りす組
 秋の自然に触れながら、全身を使っている遊びや感覚遊びを楽しむ

うさぎ組
 秋の自然の中で、友達と関わりながら、好きな遊びを楽しむ

もも組
 身近な秋の自然物を使い、季節の変化を感じながら遊びを楽しむ

今月の保育目標
 ひまわり組
 自然の身近な事象の変化を感じながら、秋ならではの自然物遊びの中へ取り入れ楽しむ

さくら組
 秋の自然に親しみ、収穫体験では、実りの不思議さを感じたり、戸外遊びでは、事象の変化を体感したりして楽しむ

お散歩や戸外遊びで、身体も心もすくすく伸びる!!
 あまりの暑さに戸外遊びがしづらかった夏が過ぎ、秋風が気持ちいい季節がやってきました。「本堂前にいってきま〜す!」「ハナミズキ公園にいってきま〜す!」と、連日戸外遊びを楽しんでいます。小山の上り下りやデコポコの地面を歩くことで、脚力や体幹が鍛えられます。このことは、大きなケガを防ぐことにもつながっていくと思います。そしてなにより、外に出たときの解放感でリフレッシュでき、生活にメリハリがつかますね。(大人も同じですね!)
 これからも、植物の変化を発見したり、秋の虫探しをしたりしながら、身体をたくさん動かし、五感でたくさんを感じ、0歳児~5歳児の子どもたちが、戸外遊びを通して自分の世界をどんどん広げていくことができるように、安全対策のもと、遊びを存分に楽しめたいと思います。